



思い出がいっぱい 生きいきサロン市外研修



生きいきサロンでは、10月に大洗町の『アクアワールド茨城県大洗水族館』に行ってきました。ここでの目玉は何といてもイルカのショー。普段ではなかなか見ることのできないダイナミックに泳ぎ回る姿に見入っていました。

このあと、水産市場で買い物を楽しんだり、新鮮な魚介類の食事に舌鼓を打っていました。

また、車中ではおしゃべりの花を咲かせるなど、楽しい一日を過ごしてきました。



平成26年度

第 **3** 号

平成26年11月1日発行

編集・発行 社会福祉法人桜川市社会福祉協議会

岩瀬本所 〒309-1223 茨城県桜川市鉾田612番地（岩瀬福祉センター内）

TEL 0296-76-1357 FAX 0296-76-2961

真壁支所 〒300-4406 茨城県桜川市真壁町山尾604番地1（真壁福祉センター内）

TEL 0296-54-2361 FAX 0296-54-2370

桜川市社協ホームページ <http://www.sakuragawa-syakyo.jp>

心も体も元気な毎日をいつまでも！

元気な暮らしは 毎日の介護予防から♪

元気アップ教室は、介護予防の一つの取り組みであり、寝たきりなどの介護が必要にならないように、心身の衰えを予防・改善しようというものです。

市内在住で六十五歳から八十五歳までの介護認定されていない方全員に、「元気度チェックリスト」を郵送して健康状態を把握し、その中から改善が必要な方に参加していただいています。

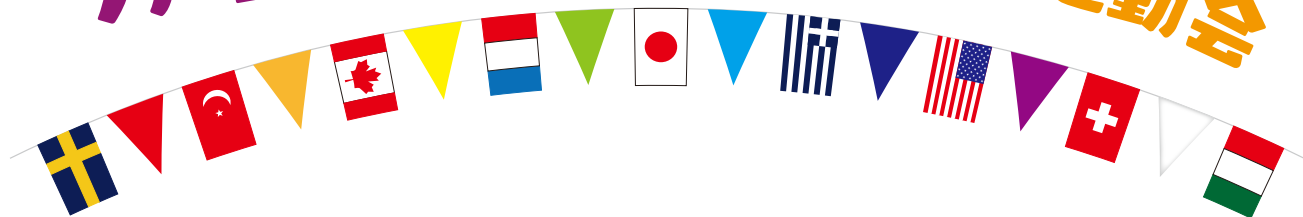
回数は全部で十二回。九月から三月まで岩瀬福祉センターをはじめ真壁福祉センター・大和いこいの家など、全五会場で開催し、運動機能の向上・口腔機能の向上・栄養改善などのプログラムを行うことにより、いつまでも元気で暮らせるよう願って取り組んでいます。

『元気アップ教室』 始まる



↑みんなで体を動かせば、楽しいだけでなく、新しい出会いもあります。

ファイト! 元気いっぱい運動会



『第5回子育て支援センター岩瀬ミニ運動会』

10月24日、子育て支援センター利用の親子130名と、デイサービス利用の方々がミニ運動会に参加しました。

年齢順に、かけっこやバスの運転手になったの親子競技、玉入れなどを行いました。デイサービス利用者の皆さんたちとの交流を楽しみながらの競技もあり、楽しい会となりました。

高齢者福祉に尽力

～老人クラブ大会で表彰～

九月十一日、第五十三回茨城県老人クラブ大会が、茨城県民文化センターで開催され、以下の皆さまが表彰されました。

この大会は、これまで永年にわたり高齢者福祉の発展に寄与された方々を表彰するとともに、福祉の在り方を考える場として開催されています。

茨城県知事感謝状受賞者



左から市村一郎さん・池田 孝さん

茨城県知事感謝状受賞者（敬称略）

市村 一郎（下谷貝和楽会）

池田 孝（本木第二延命会）

茨城県老人クラブ連合会

会長表彰受賞者（敬称略）

高橋 修（西小埜高齢者クラブ）

支えあう地域 ♡つながる心♡



県老人クラブ会長表彰受賞者



高橋 修さん

桜川市高齢者クラブ連合会各種スポーツ大会の結果

●第9回輪投げ大会

期日：8月6日 会場：大和ふれあいセンター「シトラス」

優勝

鍋屋Aチーム
・吉原さき
・植竹利夫
・広瀬敬一
・飯島 忍

準優勝

元岩瀬Bチーム
・榎戸 栄
・大山大三
・仲田三枝
・横田まさえ

第3位

富谷Cチーム
・坪井 一
・軽部祐作
・上野伊津子
・菱沼 進

●第6回グラウンドゴルフ大会

期日：9月9日 会場：真壁運動場

優勝

枝 幸吉
（鍋屋）

準優勝

萩原サワエ
（大国玉）

第3位

仲田七郎
（元岩瀬）

敢闘賞

永山行夫（青木）
館野義久（青木）
榎本 保（鍋屋）



おまかせください！子育て支援



↑次世代を担う子供たちのためにも、子育てに対する支援は重要です。

桜川市初の「まかせて会員」十五名が誕生しました。子育ての手助けがほしい方は、お気軽にご相談ください。お待ちしております。

さて、今回の講習で四名の講師から色々なお話を聴かせていただきましたが、各講師のお話は有意義な内容で分かりやすく、大好評でした。

参加した会員の方たちからは、ファミ・サポの活動はもちろん「自身の生活の中でも役立ちそうだ」との感想をいただくことができました。

協力会員は随時募集しておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ファミリーサポートセンター
提供会員
（まかせて会員）
講習会修了!!

長年の功績称え表彰

第64回茨城県社会福祉大会

10月16日「小美玉文化センターアピオス」において、『第64回茨城県社会福祉大会』が開催されました。

当日は、女性講師 宝井琴桜 氏を講師に迎え『講談で語るみんなで支える高齢社会』を演題に、記念講演が行われました。

式典では、長年にわたり社会福祉の発展に貢献された方々が顕彰され、桜川市では以下の方々が受賞されました。

◎茨城県知事表彰〈敬称略〉

上の原学園成人寮 枝 光 憲

紫 峰 会 青 木 勉

共同募金運動奉仕者 日本ボーイスカウト茨城連盟桜川第2団

共同募金運動奉仕者 門毛ソフトボール・バレーボール愛好会

共同募金運動奉仕者 ほ ほ え み 市

◎社会福祉協議会会長表彰〈敬称略〉

ボランティア 川 津 イエ子

ボランティア 浅 野 愛 子

心配ごと相談員 大和田 勝 子

桜川市母子寡婦福祉会 成 田 とき子



『家族介護者交流会』

●奥久慈で茨城の秋を満喫

10月10日に、ご家庭で家族を介護している方々を対象とした交流会を開催しました。

今回の行先となった奥久慈への車中では、参加者から色々なお話を伺うことができました。

また、介護者の方たちは、ゆばすき体験や日本三大名瀑として知られる『袋田の滝』の見学などを通して、相互交流・情報交換等でリフレッシュしていたようです。

心配ごと相談開催

会 場	開 催 日	時 間
岩瀬福祉センター	第1・第3月曜日	午後1時30分
大和中央公民館	第2・第4木曜日	午後1時30分
真壁福祉センター	第2・第4水曜日	午後3時30分

※都合により相談所に来られない方のために、電話相談を受け付けています。

※電話相談受付は、開催日・時間と同じです。

岩瀬福祉センター 電話 75-1690

真壁福祉センター 電話 54-2361

※ただし、11月3日(月)はお休みになります。



可能性にチャレンジ

～桜川市ボランティア連絡会全体研修会～

「障がい者スポーツ」を体験

10月23日、岩瀬体育館『ラスカ』において、桜川市ボランティア連絡会会員など約90名の参加のもと、『障がい者フライングディスク』を行いました。

目を塞ぎ、感覚だけをたよりに一定の的にめがけて遠投する時や、耳が聞こえない状況での競技を行う難しさは、言葉では言い表せないほどの神経と集中力が必要でした。

たとえ、はじめの一步は小さくとも、その一步は大きな可能性を秘めているはず。障がいのある方のスポーツを支える人同士のつながりができ、活動の幅を広げるきっかけにしていきたいと思っています。

また、障がいのある方への協力と理解を深め、地域で支えるあたたかいまちづくりを目指し、障がい者と健常者が一緒にチームスポーツを楽しめる日を期待しつつ、様々なスポーツを体験していきたいと思っています。



無料法律相談会開催

財産・相続・借地・金銭貸借契約・離婚問題など、法律に関することについて弁護士が相談に応じます。

なお、事前の予約が必要になります。

開催日	会 場	相談時間	予約受付開始日
11月26日 (水)	岩瀬福祉センター	午前10時～12時	11月17日(月) 午前9時より
1月28日 (水)	大和ふれあいセンター「シトラス」	午前10時～12時	1月19日(月) 午前9時より
3月25日 (水)	真壁福祉センター	午前10時～12時	3月16日(月) 午前9時より

※相談料は無料です。

※桜川市在住の方で、先着5名までとさせていただきます。

※相談時間は、1人あたり20分程度になります。

問合せ・予約先 桜川市社会福祉協議会岩瀬本所

電話 0296-76-1357

平成26年度 歳末たすけあい募金のご協力をお願いします

・実施期間

12月1日（月）～12月26日（金）

・募金方法

◎戸別募金 1世帯 200円

各行政区よりご協力願います

◎一般募金（個人・団体・法人等）

・納入・取扱先

桜川市社会福祉協議会本所および支所

今年も残り2か月となりました。皆様方には、10月の赤い羽根募金に引き続き、今回の歳末たすけあい募金にご協力いただき、感謝申し上げます。

この募金活動は、市内にお住まいで支援を必要としている方々のために“みんなで支えあい、明るいお正月を迎えよう”という趣旨のもとに、ご協力をお願いするものです。

どうか皆様には、この募金の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

※ご協力いただきました方は、後日『社協だより』に掲載させていただく予定ですが、「匿名」を希望される方は、本会までご連絡ください。

平成26年度 歳末たすけあい事業配分申請のご案内

歳末たすけあい募金は、年末の時期に支援を必要としている方々が、明るいお正月を迎えられるよう、みんなで支え合うことを目的とした募金活動です。いただいた募金を『歳末見舞金』として、下記の条件に該当する方に配分を予定しております。なお、個人情報保護法により、自己申請を原則といたしますが、民生委員による代理申請も受け付けいたします。

〔申請期間〕 平成26年11月4日（火）～11月28日（金）

※土・日・祝日を除きます。

〔受付時間〕 午前8時30分～午後5時15分まで

※申請できる方（下記の①②の要件を満たすことが必要です。）

①桜川市内に居住し、住民税が非課税の世帯。

②（1）～（7）いずれかに該当すること。



対 象 者	条 件	添 付 書 類	申 請 方 法
(1)養育者家庭	両親とも不在の18歳未満の子を養育している住民税非課税の世帯	・所得課税証明書(世帯用)	・自己申請(本所・支所)
(2)ひとり親家庭	ひとり親が、18歳未満の子を養育している住民税非課税の世帯	・ひとり親であることの証明書(児童扶養手当証書のコピー) ・所得課税証明書(世帯用)	・自己申請(本所・支所)
(3)重度心身障害児(者) 重度身体障害児(者)	障害者手帳1・2級保持者又は療育手帳A・ ①保持者のいる住民税非課税の世帯	・障害者手帳、又は療育手帳のコピー ・所得課税証明書(世帯用)	・自己申請(本所・支所) ・民生委員代理申請
(4)ひとり暮らし老人	70歳以上で単身生活をしている住民税非課税の方	・所得課税証明書(世帯用)	・自己申請(本所・支所) ・民生委員代理申請
(5)高齢者世帯	70歳以上の高齢者世帯で、住民税非課税の世帯	・所得課税証明書(世帯用)	・自己申請(本所・支所) ・民生委員代理申請
(6)ねたきり老人	70歳以上で、在宅において要介護認定4、又は5の方がいる住民税非課税の世帯	・介護保険証のコピー ・所得課税証明書(世帯用)	・自己申請(本所・支所) ・民生委員代理申請
(7)要保護家庭 準要保護家庭	生活保護の対象にはならないが、それに準ずると認められる住民税非課税の世帯	・所得課税証明書(世帯用)	・自己申請(本所・支所)

※申請場所・問い合わせ先 桜川市社会福祉協議会

岩瀬本所 桜川市楸田612番地（岩瀬福祉センター内）

電話 0296 (76) 1357

真壁支所 桜川市真壁町山尾604番地1（真壁福祉センター内）

電話 0296 (54) 2361

*申請書は桜川市社協本所および支所窓口にございます。添付書類・印鑑持参の上申請してください。

電話での受付はいたしません。申請した場所が見舞金お受け取りの場所となります。

*所得課税証明書は、市役所税務課で発行しています。（1通300円）

感

善意の窓口

平成26年
8月21日～10月20日

寄贈者
一覧

※（敬称略・順不同）

社会福祉協議会は、たくさんの皆様のご支援、ご協力を得て福祉の向上に取り組んでいます。

◎ 物品等預託

寄贈者名	物 品 名
ひだまりの家やまと	ボトルキャップ・牛乳パック
藤田 定一	ボトルキャップ
中村 力男	ボトルキャップ
堀 智恵子	ボトルキャップ
匿名	ボトルキャップ 8件
高久 梨穂	ブルタブ・ボトルキャップ
森田 ふじ子	ブルタブ・ボトルキャップ
匿名	ブルタブ 6件
桜川市役所市民課	使用済み切手
桜川市役所国保年金課	使用済み切手
奥村 美枝子	使用済み切手
匿名	使用済み切手 2件
伊東 啓子	牛乳パック
近藤 利美	牛乳パック
匿名	牛乳パック 2件
内田 英	年賀はがき 20枚
茨城県退職公務員連盟 笠間支部岩瀬分会	タオル 260本
県西総合病院	タオル・ブルタブ
匿名	座布団 25枚・紙おむつ 1箱
匿名	玄米 1俵

◎ 現金預託

寄贈者名	金 額
桜川市民生委員児童委員協議会 岩瀬地区 高齢福祉部会	10,000円

◎ 岩瀬福祉作業所への物品等預託

寄贈者名	物 品 名
海老沢 清	果物
袖山 嘉彦	果物
ひだまりの家やまと	牛乳パック
匿名	牛乳パック 2件
堀 智恵子	牛乳パック
さつき荘	牛乳パック
仲田 幸代	牛乳パック
野村 京子	牛乳パック・お菓子

謝

しあわせ学級通信



「しあわせ学級」は、各地区の高齢者クラブ会員の代表の方が参加し、毎月一回、各分野の講師に講話や体操等の指導を受け、生涯学習に取り組んでいます。

秋晴れとなった九月二十六日、受講生三十六名と地区の高齢者クラブ会長十三名が、五霞町の「染めQ」という塗料会社まで、移動学習に行ってきました。

工場でエコバック作りにチャレンジした参加者たちは、みんなで出来栄を確かめあいながら、子どものころの遠足のように楽しんでいます。

移動学習で
エコバック作りを
体験

編集後記

さざんかの花が、小さな秋を連れてきました。

皆さまお元気でしょうか。さて、総務省が『敬老の日』に合わせてまとめた九月十五日時点の推計人口によると、日本の六十五歳以上の高齢者人口は三千二百九十六万人で、高齢社会が急速に進んでいる実態が浮き彫りになりました。一年前より百十一万人増え、日本の人口に占める割合も二五・九パーセントと、過去最高を更新し、増加を続けています。

長生きをするには、とにかく病気になるのが一番です。当社会福祉協議会では、積極的な健康法として市シルバリーハビリ体操指導士会の協力のもと、「転倒予防体操」を採り入れ、健康増進を推進しています。さらに健康を高め、長生きに結び付けていただきたいと願っております。

H生

